



佐賀県内工業系高等学校との進学懇談会を実施

【概要】

令和4年6月15日（水）に、佐賀県内の工業系高等学校の校長並びに進路担当者等10名と生徒15名が佐賀大学理工学部を訪問され、工業系高等学校と佐賀大学理工学部との進学懇談会が実施されました。

【本文】

令和4年6月15日（水）に佐賀大学理工学部1号館・地域連携デザイン工房において、令和4年度佐賀県内工業系高等学校と佐賀大学理工学部との間で進学懇談会が開催されました。当進学懇談会は、ここ2年間はコロナ禍のため、実施できておらず、久々の開催となりました。当日は、県内6つの工業系高等学校の校長並びに進路担当者等10名と生徒15名が佐賀大学理工学部を訪問されました。生徒は、理工学部内の見学会に参加し、高等学校関係者は、理工学部長、副学部長および5部門の部門長との間で懇談会を行いました。

見学会では、生徒の希望に応じて情報部門、機械工学部門、電気電子工学部門、都市工学部門に分かれて、最新の研究内容の説明や実験設備の見学を行いました。情報工学部門の見学では、人工知能やマップシステム、サイバーフィジカルシステムや視覚暗号などの研究について紹介がなされました。機械工学部門の見学では、流体工学の知識を利用した医工学に関する研究の紹介、及び低速風洞を用いた風速30m/sの風の体験を行いました。電気電子工学部門の見学では、無線電力伝送、光半導体、ロボット、人工知能に関する最新の研究紹介や、電波暗室での電磁波の無い空間を体験しました。都市工学部門の見学では、土質実験室の試験装置や屋上気象観測装置などの説明を受けたり、デザインギャラリーや製図室、大学院デザインスタジオの見学を行いました。

懇談会では、山崎 佐賀県工業部会進学推進委員長と豊田 理工学部長の挨拶のち、工業部会事務局の尊田 教諭の司会により、それぞれの自己紹介がおこなわれました。その後、事務局からの事前に問い合わせのあった質問事項について、理工学部長及び関連部門長から回答がなされました。大学入試に直接関連した内容については個別の回答は差し控えられたものの、基本的にはアドミッションポリシーに照らしての対応となること、工業系高等学校の生徒が学習しておくべき内容や、日ごろの読解力と作文力を含めたコミュニケーション力の重要性などの回答がなされました。また、工業系高等学校側から佐賀大学が開講している「科学へのとびら」に対する強い興味が示されました。

最後に、工業系高等学校側から、工業系高等学校への教育実習生の受け入れが可能であることと、学生の就職先として工業系高等学校教員も選択肢として考えて欲しいとの話がありました。平成30年3月から継続する佐賀大学理工学部と佐賀県高等学校教育研究会工業部会との継続的な連携が今後も大いに期待されます。



情報部門での見学風景



機械工学部門での見学風景



電気電子工学部門での見学風景



都市工学部門での見学風景



懇談会の様子